

② 東京都武蔵野市が取り組む発火危険物混入防止対策のご紹介

東京都武蔵野市が実施しているリチウムイオン電池等の発火危険物への対策を以下のとおり紹介させていただきます。全国の市町村の皆様に参加して頂けると幸いです。

記

東京都武蔵野市（人口 14 万 6 千人）では、不燃ごみ処理施設において、年間 5 件の発火事故が発生し、そのうち 2 件はリチウムイオン電池が原因と思われる発火事故でした。また、プラスチック製容器包装の中間処理施設についても、リチウムイオン電池等の発火物が検出されています。この発火事故を受け、武蔵野市では、市民への啓発、収集運搬や中間処理施設での対策を行いました。

1. 市民啓発

- ・リチウムイオン電池等の電池類の発火危険性を知らせるチラシを作成。広報誌の特集でも掲載した。
- ・分別収集品目名を変更した。
「その他プラスチック製容器包装」→「プラスチック製容器包装」
「有害ごみ」→「危険・有害ごみ」
- ・チラシ・広報誌にて、電池類や、電池が取り外せない小型家電製品を捨てる際には、「有害ごみ・危険ごみ」の区分で排出するよう啓発した。

2. 使用済み小型家電の回収強化 等

- ・使用済み小型家電の回収BOX設置場所を 3ヶ所から 15ヶ所に拡大し、市民が排出しやすいようにした。
- ・小型家電リサイクルの認定事業者であるリネットジャパン(株)と連携し、「宅配便回収システム」を導入した。

※宅配便回収システム

使用済みパソコン・小型家電を、直接一般市民が、リネットジャパン(株)に発送し、リサイクルする仕組み。通常は、一般市民が 1 箱あたり 1,500 円（税抜）の費用を負担するが、リネットジャパンと連携している市町村に在住の市民の場合、パソコンを含む場合は無料で発送可能となる。

詳細は、リネットジャパンのホームページ (<https://www.renet.jp/>) を参照。

- ・使用済みリチウムイオン電池等の小型充電式電池は、今まで通り、家電量販店等で回収を実施。（市は HP で周知）

3. 収集運搬時の検査

- ・月に 2 回収集している不燃ごみをパッカー車に乗せる前に、すべての不燃ごみ袋を対象として、不燃ごみ袋の中に発火危険物があれば、分けしている。

4. 処理施設での対策

不燃物処理施設の処理ラインに、火災検知器、スプリンクラー設置した。

上記の対策を行った結果、以下のように、発火危険物を回収することが出来るようになった。

- ① 使用済み小型家電の回収BOX設置場所を 3ヶ所から 15ヶ所に拡大したことにより、回収量が約 9.6 k g /月から 119.8 k g /月に大幅に増加した。
- ② 新たに開始したパソコン・小型家電が宅配便回収により、627 k g /月が回収されるようになった。
- ③ 回収された危険・有害ごみの重量は 6,700 k g /月から 7,980 k g /月に増加した。 ※平成 30 年度データ

上記、武蔵野市の取り組みに関する問い合わせは、直接、武蔵野市の以下の連絡先にお問合せください。

政策に関する問い合わせ 武蔵野市 環境部 ごみ総合対策課 0422-60-1802

設備に関する問い合わせ 武蔵野市 環境部 クリーンセンター 0422-54-1221

以上